

変革期を迎えて 医業経営の 新たなステージへ



公益社団法人
日本医業経営コンサルタント協会
会長 川原 丈貴

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様ならびに関係者の皆様におかれましては、平素より当協会の活動に格別のご理解とご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年も、地域医療・介護の現場では自然災害への対応、人口構造の変化への対応、さらには医療従事者の労働環境改善など、多様かつ複雑な課題に直面いたしました。こうした中で、皆様が日々、現場を支え、暮らしを守るために尽力されてきたことに、あらためて深く敬意を表します。

また、当協会が昨年11月に開催いたしました第29回日本医業経営コンサルタント学会 香川大会では、財務事務次官の新川浩嗣先生、厚生労働事務次官の伊原和人先生をお招きして特別講演を実施するなど、日本医業経営コンサルタント学会として新たな一歩を進めることができたプログラムとなり、ご参加の皆様と活発な議論が交わされました。シンポジウム等においても医療DXなどをはじめとした先進的な取り組みの報告があり、関係各所における医業経営に対する理解と連携が一段と深まったと感じております。

さて、本年は令和8年度に施行される診療報酬改定をはじめ、医療・介護・福祉分野を取り巻く制度や仕組みの大きな見直しが予想されます。新たな地域医療構想を踏まえた地域包括ケアシステムの深化、そしてICT技術やAI活用の拡充、ロボティクス導入による経営の進展は、医療提供のあり方を大きく変える可能性を秘めています。一方で、それに伴うコスト管理や人材育成、業務プロセスの最適化など、経営面での対応も容易ではありません。

こうした変革期において、当協会および認定登録 医業経営コンサルタントの役割は、これまで以上に重要になると確信しています。地域の実情を熟知し、医療・介護・福祉の各領域をつなぎ、多職種連携を支援することで、「安心・安全で質の高い地域医療」の実現に貢献したいと思います。会員相互の情報交換や研鑽をさらに促進し、制度改定への対応、経営改善、DX推進、地域包括ケアシステムの深化などといった多様なニーズに応えられる体制を整えるべく、当協会といたしましても事業の発展と有益な情報発信に努めてまいります。

本年も皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員とその関係者の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。